令和5年度 ふれあい標語
最優秀賞
大丈夫
きっとできるが
合言葉
波野小学校5年　山本愛莉

ふれあい

鹿嶋市青少年育成市民会議（ふれあいの会）

No.94
発行責任者：会長
内芝 秀美
〒314-0031　鹿嶋市宮中4631-1
鹿嶋市立中央公民館内
TEL・FAX 0299(83)7545

令和五年度 鹿嶋市少年の主張 高松中学校にて開催される

令和五年九月七日(木)に高松中学校の体育館を会場に、鹿嶋市少年の主張大会が開催されました。

昨年はコロナ感染拡大の影響でリモート開催でしたが、今年はコロナ感染対策の緩和で従来方式である体育館で、聴取者を前に少年の主張を発表して頂くことができました。

高松中学校の生徒の皆さんの前で鹿嶋市少年の主張作文で優秀賞に輝いた生徒の作品を作者本人に主張して頂き、同世代の生徒に響くものがあったと思います。

今年は猛暑が続き、体育館での開催が危ぶまれましたが、開催校の先生方に尽力いただきどうにか開催することができました。聴取して頂いた方からは「関係者以外の大人の方々にも聞いて頂けないか」との意見を頂き、今後の課題とさせて頂きました。

少年の主張大会で最優秀賞を受賞した
平井中　3年　水野朱梨さんの発表の様子

発表大会では平井中三年の水野朱梨さんが、最優秀賞を受賞いたしました。発表内容はもとより、発表時の聴衆への訴える姿勢が高く評価されての受賞でした。

生徒が同年代の仲間の前で話しかけ、色々な課題、考え方について訴えるこの少年の主張大会は、青少年の健全育成の面からも有意義なものと考えます。今後ともこのような機会を大切にしていきたいと思いました。

少年の主張大会に出場した11名の生徒達

令和五年度を振り返って

鹿嶋市青少年育成市民会議
会長　内芝　秀美

市民会議では、青少年の心を育む家庭を改めて見直す活動「親が変われば子どもも変わる」をテーマに、地域の大人として出来る事業を実施しております。

今年度は制約なしに社会活動ができるようになり、「少年の主張」「家庭の日ふれあい標語・絵画展」さらに「森林・林業体験学習」「て～ら祭での素朴な遊び体験」「高校生の活発なボランティア活動」等、子ども達が活き活きと活動できる事業を実施できました。

また、地域見守りの継続、高校生の健全育成を目指した多様な活動の展開等にも努めることができました。

これらは全て推進委員の皆様始め、多くの方々のご協力のお蔭で成せたこと、深く感謝いたしております。

未成年者喫煙防止キャンペーン 買い物客にPR

令和六年一月二十一日（日）十一時からショッピングセンターチェリオ店入口をお借りし20歳未満喫煙防止キャンペーンとしてティシュの配布を行いました。

当日はあいにくの雨となってしまいましたが、買い物で来られた多くのお客さま方に、20歳未満の喫煙防止を訴えることができました。

キャンペーンには市民会議の推進指導員の方々の他に鹿嶋市更生保護女性会のメンバーの方々にも参加して頂きました。

ご協力ありがとうございました。

中学生見守り活動

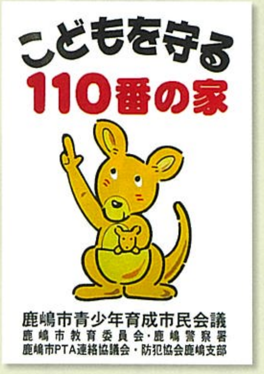
令和五年度の中学生放課後見守り活動は、計画通り（年間二十回）行うことが出来ました。子ども達の見守り活動は、各地域においても行われていると思いますが、市民会議では中学生のクラブ活動終了後の遅い時間帯の見守りに重点を置き取り組んでいます。

薄暗い時間帯での中学生の帰宅が少しでも安心して帰宅できるよう、交通安全はもとより不審者の声かけ抑止になればと、今後とも続けて活動したいと思います。

子どもを守る110番の家

子どもを守る110番の家とは、

ボランティア活動の一種であり、子供たちが街で知らない人から「声掛け」、「痴漢」、「つきまとい」などの被害を受けたときに助けを求めて逃げ込む為の場所で、子供たちを保護し、警察や学校に通報してくれます。一般家庭や個人商店などに依頼しているものと、法人や団体が防犯CSR活動の一環として設置しているものの2種類があります。鹿嶋市青少年育成市民会議では前者の依頼協力いただいた一般家庭や個人商店の方々の受付管理を行っています。



新規にご協力いただける方は各学校PTA又は市民会議にご連絡下さい。また、110番の家の看板等劣化した場合もご一報頂ければ幸いです。

尚、市民会議への問い合わせ先は下記、会員募集欄の問い合わせ先と同じです。

編集後記

昨年5月にコロナ感染症が5類に移行となり、世間ではいろいろな行事が再開され人の移動も活性化されてきました。市民会議でも、森林学習が再開され、少年の主張発表会も会場に聴衆を入れての開催ができた次第。

「ふれあい」も、今回は12ページへと紙面を増やしての発行となりました。

子ども達の作文や絵画・標語などを楽しんで頂ければ幸いです。

編集作業中にも、私の小中学生の頃に比べて何としっかりした考えや感性を持っているんだろうと感心しつつ編集の手を止め作品に見入ってしまうこともしばしば。

今は、昔に比べ情報が巷にあふれている状態。子ども達はその中から自分に必要なものを取捨選択していかなければならず便利な反面一歩間違えると危険とも背中合わせな状態に晒されています。

スマホのアプリの誤った使い方で命を落としてしまった不幸な事件も発生しています。

我が家はこの春で子育ても一段落し、子ども達は家庭を持ったり社会人となり、今は日々すくすく育つ孫と遊ぶのが楽しみな穏やかな生活を送っています。

多くの子どもたちが皆安全で健やかに育つことができるよう微力ながら協力を続けようと思います。

賛助会員の募集

鹿嶋市青少年育成市民会議では、市民総ぐるみの青少年健全育成市民運動を行っています。青少年の健やかな成長のために賛助会員となって、市民運動をご支援くださるようお願い致します。

賛助会員には以下のとおりの種類があります。

①法人等　一口　3,000円・5,000円・10,000円
②個　人　一口　1,000円

※それぞれ何口でも結構です。ご支援をよろしくお願い致します。

問い合せ
鹿嶋市青少年育成市民会議事務局　担当／市田
TEL.83-7545　携帯.090-4003-8504
E-mail　ikusei_shimin@yahoo.co.jp

鹿嶋市少年の主張作文 表彰式行われる

最優秀賞に 県立鹿島高校附属中学校 三年 渡邉桃香さんが受賞

鹿嶋市少年の主張作文の表彰式が、十月十四日(土)鹿嶋市役所三階会議室において行われました。

今年度の少年の主張作文は、千四百十五作品と数多くの作品が寄せられました。

審査対象作品百四十二作品の中から五十作品が選出され、その内の最優秀賞・優秀賞・優良賞を受賞された十九名の方々を迎え表彰式が行われました。

表彰式では会長の挨拶に続き、来賓に教育委員会事務局部長の大須賀規幸様をお迎えし、受賞された生徒達にお祝いの言葉をかけて頂きました。

最優秀賞には県立鹿島高校付属中学校三年の渡邉桃香さんが受賞され賞状と副賞の図書カードが授与されました。その後、優秀賞、優良賞を受賞されました生徒にも賞状・副賞が授与されました。

尚、最優秀賞に輝きました渡邉さんの作品は、少年の主張茨城県大会においても優秀賞を受賞しました。

本当におめでとうございました。

主張作文で受賞された方々

令和５年度　鹿嶋市少年の主張作文入賞者一覧

賞	学校名	学年	名前	題名
最優秀賞	県立鹿島高校付属中学校	3年	渡邉　桃香	諦めない心をもって
優秀賞	平井中学校	1年	高山　虎大	言葉の力
		2年	大川　璃空	素敵な学校生活を送るために
		2年	坂本　麻里亜	行動、表現していくということ
		3年	水野　朱梨	言葉の魔法
	高松中学校	2年	梶佐古　早桜	家族に感謝を伝えたい
	大野中学校	1年	久保　柚季	社会を明るくするために
	鹿野中学校	2年	小野　雅弥	一人一人の意見を尊重し合える社会へ
	鹿島中学校	1年	吉田　朱里	戦うこと
		3年	工藤　凜	交差点の黄レンジャー
		3年	茅根　由美	最後の砦
優良賞	平井中学校	2年	津島　彩乃	戦争を「防ぐ」方法
	大野中学校	3年	齊藤　悠大	部活動の在り方とは
	鹿野中学校	3年	堀口　葵	私たちの環境
		3年	松本　小幸	障害は個性である
	鹿島中学校	2年	松永　望那	挨拶はコミュニケーション
		3年	朝部　早智	本気の出し方
		3年	高野　杏子	努力が与えてくれるもの
		3年	真砂　柚葉	本当の魔法
佳作	平井中学校	2年	岩土　そら	日本の政治について
		2年	佐田　聖奈	流行にとらわれない自分作り
		3年	大平　悠真	祖父はスーパーマン
		3年	兼平　陽菜	有意義なもの
		3年	福井　萌禾	校則は必要か
	高松中学校	2年	黒澤　瑠花	誰もが忘れない体験
佳作	大野中学校	1年	高野　翔大	「繊細さん」
		2年	皆藤　心優	動物を大切に
		3年	石橋　愛歌	私の将来の夢
		3年	河野　心結	誰もが（食）を楽しめる世界へ
	県立鹿島高校付属中学校	2年	杉山　結愛	大切な一つの命
	鹿野中学校	2年	淺間　柊太	日本のゴミ問題について
		2年	森下　宇情	子供たちが社会人になるために
		3年	小林　志帆	「助ける」ということ
		3年	鈴木　博稀	豊かな暮らしとは
		3年	橋口　日南	世界中にきれいで安全な水を
		3年	長尾　美穂	地球の熱を治すために
	鹿島中学校	1年	小澤　杏奈	ゴミ拾いの大切さ
		1年	髙柳　樹里	戦争のない世界へ
		1年	平岡　泰祐	一票で変える未来
		2年	大川　由乃	当たり前の言葉
		2年	辻　琴葉	私の小さなお手伝い
		2年	平野　萌愛	小さな一言
		3年	浅野　優愛	選挙に行く若者を増やすには
		3年	井関　桃子	バスのマナー
		3年	大川　芽依美	自分が主人公
		3年	嵜山　美月	まわりとちがう部分を認めること
		3年	丸田　栞	音楽が贈るメッセージ
		3年	茂垣　皇	僕の憧れの存在
		3年	山脇　惺太	ウクライナの戦争について
		3年	吉野　香志郎	自分が進む道

鹿嶋市少年の主張作文 最優秀賞作品

あきらめない心をもって

鹿島高等学校付属中学校　三年　渡邉　桃香

「走りたい。」

私は頭を抱えていました。以前のように、みんなのように、走りたい。運動したい。部活動を、体育を、見学しているとき強く思います。

中学三年生になった春、私は医師から「若年性突発性関節炎」という診断を受けました。関節が痛む指定難病で、膝や股関節、肩、手首、指、腰など様々な場所に痛みがでます。当然のことながら、痛みがある今は運動することができません。みんなが楽しそうに運動している部活動や体育を見学することは、私にとって思った以上に辛いものでした。

私は中学校に入学すると陸上部に入部しました。種目は長距離。週四回の部活動だけでなく毎日の筋トレ、朝のランニングを欠かさず、がむしゃらに練習を頑張ってきました。でも二年の秋、痛みが突然現れたのです。最初は原因がわからず、リハビリに通い続けていましたが、痛みはおさまらず、母が色々調べてくれて、専門の病院に行くことになりました。幾つかの検査の後「若年性突発性関節炎」という病名を告げられました。さらにみんなが頑張っている部活動や体育の授業も出られずどんどん置いていかれてしまう、という焦りが私を苦しめだしたのです。

実は私は、二年生の夏に部活動のキャプテンに指名されました。憧れのキャプテンに自分がなれたことがとてもうれしくて、準備や挨拶など積極的にするようにしました。練習も手を抜かず、「ファイト、頑張れ。」のかけ声も率先して言うようにしました。こんなに頑張っていたのに、走れなくなるなんて。なぜ神様はその努力に報いてくれないのだろうと思い、「私はなにもできないキャプテンなんだ」と落ち込みました。精一杯頑張っている部員にも心からの「お疲れ様。」が言えません。そんな自分が嫌で嫌でしょうがなかったです。

また、走れないながらも部活に参加し続ける私に、顧問の先生や他の部員は、「背負い過ぎないで」とか、「無理しないで」と優しい言葉をかけてくれましたが、そういう風に気を遣われるのも嫌でした。意地で部活動に行く、そんな時に「今日の練習きついからイヤだな。」と部員が言っているのが聞こえました。「私は走れないでいるのに、走れているだけでも良いじゃないか。そういう『当たり前』の環境にずっといると、そのありがたみが分からないんだ。」そう怒りがわいた時、はっと気付いたのです。私も走れなくなるまで同じだったと。怪我している人の気持ちも、病気で苦しんでいる人の気持ちも、分かっているようで分かりきれていなかったのだ、と。

ある日、私は家族といっしょに相撲を見に行くことになりました。最初はあまり気乗りしませんでしたが、次第に面白くなりました。ある取り組みのときのことです。たくさんの観客は一方の力士の名前だけ大声で応援し、相手の力士を応援する声がほとんど聞こえません。大人気の力士の方が優勢に見えました。けれど、もう片方の力士は最後まで諦めず必死に踏んばり、負けまいと頑張ったのです。絶対に、一ミリも諦めない。その姿があまりにも素敵で心を打たれ、鳥肌が立ちました。あの力士みたいに頑張りたい、踏んばりたい。いつかまた走れるようになる日まで、私も負けない。そう心に誓いました。

それから私は自分の病気のことを受け入れられるようになり、心が少し落ち着いた気がします。友達ともたくさん話して、たくさん笑っています。それが幸せだと改めて生きていることがうれしくなりました。現在も月に一度、治療をしています。まだ効果は見られないけれど、いつか効果が出るまで私は負けません。今後も部活動では、自分にできる範囲で精一杯準備をし、頑張る部員をサポートしたいと思います。

「普通」や「当たり前」というのは、自分がそうでなくなった時に初めて気付くのだと身をもって知りました。その気付きを忘れず、いつかまた「普通」に走れるようになるまで、希望を捨てず、諦めないで頑張りたいです。

ふれあい標語・絵画表彰式

鹿嶋市ふれあい標語・絵画の入賞者の表彰式が十月十四日(土)鹿嶋市役所三階会議室において行われました。

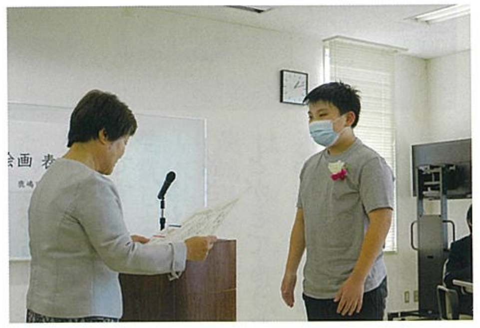
今年度の応募総数はふれあい標語が千九百十五作品、ふれあい絵画は五百二十六作品と数多くの作品が寄せられました。その中から審査の結果、標語は五十五作品が絵画は五十六作品が入賞され標語・絵画共に最優秀賞・優秀賞を受賞された方々が表彰式に臨みました。

ふれあい標語の部では最優秀賞に波野小学校五年山本愛莉さんが、ふれあい絵画の部では三笠小学校六年本間光一さんがそれぞれ受賞されました。

表彰式では市民会議内芝会長より賞状並びに副賞の図書カードが贈られました。また、優秀賞を受賞した児童・生徒の皆さんにも賞状と副賞が贈られました。

会場には保護者の方々や学校関係者の方々も同席し、子供たちを温かく見守っていただきました。受賞された皆さんおめでとうございました。

ふれあい標語・絵画の最優秀賞・優秀賞を受賞した方々



受付ボランティアの皆さん

表彰式会場風景

令和５年度ふれあい標語入賞作品一覧

審査結果	学校名	学年	氏　名
最優秀	波野小	5年	山本　愛莉
優秀	豊郷小	1年	塚原　莉央
		1年	吉田　羽花
	波野小	3年	藤崎　彩葉
	鹿島小	3年	山形　聡太
		4年	森江　奈緒
		4年	早川　綾乃
	高松小	3年	久保庭　美織
	平井小	1年	大宮　茉莉
	平井中	2年	齊藤　咲月
	大野中	3年	島　凛花
	鹿島高校付属中	3年	川口　愛七子
優良	豊郷小	3年	塙　貴登
		4年	谷田川　琉冴
	波野小	1年	札　春瑠
	平井小	2年	小堀　笑子
		6年	繁田　ひより
	三笠小	2年	大鷲　亜門
	大同東小	4年	日向寺　大壱
	大同西小	4年	沼田　愛
	中野東小	2年	宮本　奏佑
		6年	永山　瑠愛
	中野西小	3年	倉川　湊
	鹿島中	1年	山口　夕凜
		2年	吉田　虎太郎
	高松中	3年	原　詩音
	平井中	3年	水野　朱梨
	鹿島高校付属中	2年	相澤　颯

審査結果	学校名	学年	氏　名
佳作	豊郷小	3年	小堤　優
		5年	深澤　李絆
	豊津小	6年	海老沢奈々美
	波野小	5年	木内　結理
	鹿島小	3年	髙瀬　健
		3年	竹内　日々翔
		3年	梅本　然
		3年	立野　莉玖斗
	高松小	1年	小林　葵
		4年	小澤　新
	鉢形小	1年	信太　唯希
		2年	木滝　慈奈
	三笠小	2年	本橋　大和
		2年	永井　琥史朗
		6年	善利　友稀
	大同東小	1年	久保　陽汰
		2年	北崎　葵
	中野東小	6年	鈴木　花佳
	中野西小	2年	塚本　陽太
		3年	根本　蒼志
		3年	肘井　亮太
	鹿島中	2年	柳堀　美緒
		2年	細川　莉々花
	高松中	3年	實川　優心
	平井中	2年	内藤　天斗
		3年	本宮　希望
	鹿島高校付属中	1年	宮崎　陽南子

令和5年度 ふれあい標語 優秀・優良賞作品

最優秀賞

大丈夫　きっとできるが　合言葉
波野小学校　五年　山本愛莉

優秀賞

めっちゃうま　じーじーとばーばーの　なつやさい
豊郷小学校　一年　塚原莉央

おかえりなさい　かぞくのひとこと　ほっとする
豊郷小学校　一年　吉田羽花

わたしんち　まめまきしたのに　おにがいる
波野小学校　三年　藤崎彩葉

はつぼんに　じいじに会いに　はかまいり
鹿島小学校　三年　山形聡太

おいしいね　じいじのお米　世界一
鹿島小学校　四年　森江奈緒

四きょうだい　とりあう場所は　パパのひざ
鹿島小学校　四年　早川綾乃

ひまわりを　こえるにいにの　肩車
高松小学校　三年　久保庭美織

はいたっち　でかけるまえの　すきんしっぷ
平井小学校　一年　大宮茉莉

半分こ　大きい方を　くれる母
平井中学校　二年　齊藤咲月

「いってらっしゃい」　それが一番の　エネルギー
大野中学校　三年　島　凛花

ありがとう　我が家は私の　充電機
鹿島高付属中学校　三年　川口愛七子

優良賞

はい、どうぞ　しあわせな気持ち　はんぶんこ
豊郷小学校　三年　塙　貴登

マスクとり　みんなの笑顔が　あふれだす
豊郷小学校　四年　谷田川琉冴

ぎゅーすると　ほかほかするよ　こころがね
波野小学校　一年　札　春瑠

「たかいたかい」　パパのきんとれ　お手つだい
平井小学校　二年　小堀笑子

お父ちゃん　いびきがまるで　ブルドーザー
平井小学校　六年　繁田ひより

父作る　とくせいチャーハン　金メダル
三笠小学校　二年　大鷲亜門

夕はんは　今日の出来事　発表会
大同東小学校　四年　日向寺大壱

わらい声　たえないわがやは　大家族
大同西小学校　四年　沼田　愛

いつものギュッ　元気まんたん　ぼくえがお
中野東小学校　二年　宮本奏佑

母の目は　何でも見抜く　不思議な目
中野東小学校　六年　永山瑠愛

ぼくドリル　音なしテレビ　見るじいじ
中野西小学校　三年　倉川　湊

反抗期　自分の時間を　くださいな
鹿島中学校　一年　山口夕凜

ペット達　ご飯の時だけ　色気出す
鹿島中学校　二年　吉田虎太郎

照れ隠し　なかなか言えない　「ありがとう」
高松中学校　三年　原　詩音

妹は　まるで恐竜　反抗期
平井中学校　三年　水野朱梨

ありがとう　中々言えない　反抗期
鹿島高付属中学校　二年　相澤　颯

令和5年度 ふれあい　絵画 最優秀・優秀作品

優秀賞　平井小1年　安永　圭希

優秀賞　平井小3年　水野　梨花

優秀賞　三笠小3年　宮原　歌恋

優秀賞　大同東小4年　境野　未織

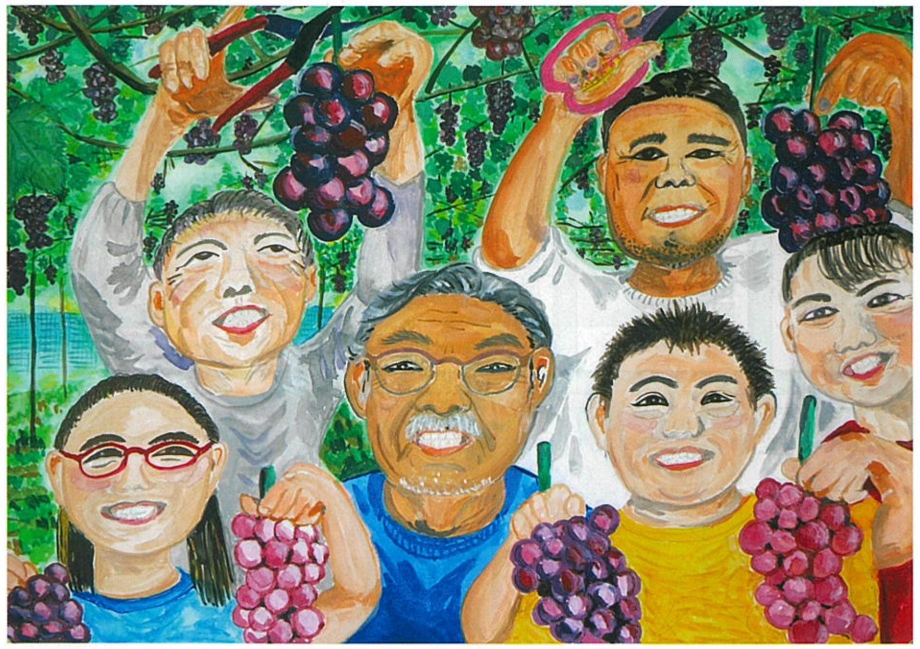
優秀賞　波野小2年　松丸　佳穂

優秀賞　三笠小4年　柳町　大喜

優秀賞　三笠小5年　安藤　柚貴

優秀賞　三笠小4年　岡田　眞海

優秀賞　鹿島小4年　石毛　隆心


最優秀賞　三笠小6年　本間　光一

優秀賞　鹿島小1年　石丸　陽太

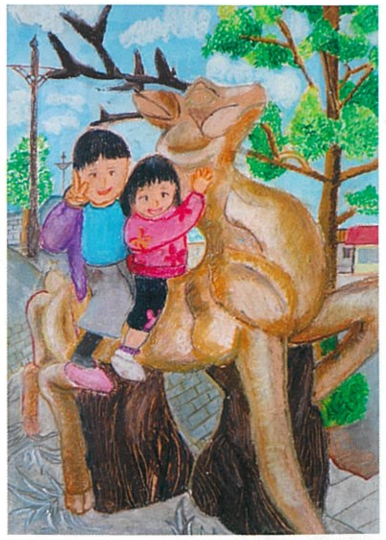
優秀賞　高松小2年　橋本　葵

優秀賞　高松小3年　土岩　彩葉

優秀賞　三笠小2年　井上　惺愛

優秀賞　平井小4年　安永　珠理

優秀賞　三笠小4年　金澤　ゆりか


優秀賞　平井小4年　宮沢　香穂

ふれあい標語・絵画の展示
三カ所で開催

令和五年度ふれあい標語と絵画については例年展示を行っていたショッピングセンターチェリオ展示場に加えて鹿嶋市中央公民館まつりのて～ら祭での展示や鹿行生涯学習センター（レイクエコー）での展示を行いました。

チェリオでは十月十四日(土)～二十日(金)の七日間展示を行い多くの買い物客の皆さんに観て頂きました。

また、十一月四日(土)・五日(日)のて～ら祭開催期間には2階連絡通路において作品を展示し、少年の主張冊子の配布と合わせてお祭参加者の多くの方々に観て頂くことができました。

十一月十二日(日)から十二月十二日(火)の一カ月間はレークエコーにてふれあい絵画の展示を二月三日(土)から二月二十一日(水)の十九日間はふれあい標語の展示を行いました。研修や学習などに訪れた方々に興味をもって観て頂きました。

どの会場においても子ども達の生き生きとした作品に感激している様子でした。

これからもふれあい標語・絵画を通して子ども達の生き生きとした感性を表現する場としてこの事業を続けていきたいと思います。今後とも多くの大人の方々に子ども達の想いを感じて頂けるよう頑張っていきたいと思います。

(2階より)

チェリオ展示場での展示風景

鹿行生涯学習センターでの展示風景

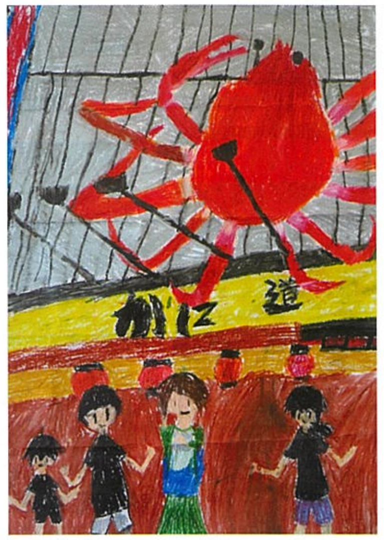
(ロビー入り口より)

て～ら祭時の連絡通路での展示風景

令和5年度 ふれあい絵画 入選者一覧

入賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	三笠小学校	6年	本間　光一
優秀賞	波野小学校	2年	松丸　佳穏
	鹿島小学校	4年	石丸　陽太
		4年	石毛　隆心
	高松小学校	2年	橋本　葵
		3年	土岩　彩葉
	平井小学校	1年	安永　圭希
		3年	水野　梨花
		4年	宮沢　香穂
		4年	安永　珠理
	三笠小学校	2年	井上　惺愛
		3年	宮原　歌恋
		4年	岡田　眞海
		4年	柳町　大喜
		4年	金澤　ゆりか
		5年	安藤　柚貴
		5年	重藤　開成
	大同東小学校	4年	境野　未織
	中野西小学校	5年	菅澤　和
	平井中学校	3年	水野　朱梨
	鹿島中学校	2年	雑賀　理乃
優良賞	波野小学校	1年	山本　愛華
	豊津小学校	6年	淺間　柚羽
	鹿島小学校	1年	石丸　晴斗
		1年	永島　翔空
	中野東小学校	1年	田島　花音
	平井中学校	2年	前川　愛奈
		2年	佐田　聖奈
		3年	栗田　ひより
		3年	小野寺　萌香
	鹿島中学校	1年	森下　穂香
佳作	波野小学校	1年	渡辺　結菜
		2年	水野　圭介
		4年	齋藤　えみ
		4年	水野　小春
		6年	中山　あおい
	豊郷小学校	3年	谷田川　蒼
	豊津小学校	3年	山口　奏空
	鹿島小学校	3年	松岡　真鈴
		6年	石毛　芳奈
		6年	岩井　陽
	高松小学校	1年	荒原　萌衣
	鉢形小学校	4年	花見　玲奈
	平井小学校	2年	小堀　笑子
		3年	高木　萌奈
		3年	竹松　葵
	三笠小学校	4年	伊藤　蓮
		6年	坂元　琥珀
	大同西小学校	2年	山本　真ノ介
		3年	鈴木　耀都
		5年	須賀田　星汰
	大同東小学校	1年	山下　陽菜
		2年	森本　結月
		5年	池田　彩希
	中野東小学校	1年	濱野　正宗
		1年	平野　瑛人

優秀賞　三笠小５年　重藤　開成



優秀賞　中野西小５年　菅澤　和

優秀賞　鹿島中２年　雑賀　理乃

優秀賞　平井中３年　水野　朱梨

森林林業体験学習再開
茨城県民の森へ

八月六日（日）に那珂市にある茨城県民の森において、森林林業体験学習を行いました。

今年はコロナ感染対策が緩和され、四年ぶりの森林林業体験学習となりました。残念なことに今年は猛暑が続き、熱中症の心配があることから、学習内容の変更が余儀なくされ、森林内での散策をすることができませんでした。

きのこ博物館内で、森林の役割などについて説明を受け、茨城県は森林の面積が思いの他多いことを学びました。

その後、環境ネイチャーセンターに移動しセンターまわりでの森林学習として、樹木の息遣い（水を吸い上げる音）や森林に生息する動植物について、ゲーム形式での学習を行いました。

昼食後は、木製プランター（物入れ）の組み立てです。初めて金槌を使う子どもたちが多く、真剣な眼差しで取り組んでいました。

行き帰りのバスの中では高校生会のお兄さんお姉さん達とレクゲームなどで楽しい時間を過ごし、充実した一日でした。

森林林業体験学習に参加して　感想文

林業体験

大同東小学校　五年生　田村茉莉沙（たむらまりさ）

林業体験でまず、簡単に森林の役目などを学びました。

次に、きのこ博物館の中に入ってきのこについて個人行動で学びました。熱中症対策で実際に外に出て見ることはできなかったけど楽しかったです。ナナフシなどの自然の物に隠れている虫がいることを知りました。自然に隠れている人工物を探しました。よく見ないとわからないものもあったのでむずかしかったです。でも、よく見ないとわからないものを見つけられたら達成感があって楽しかったです。

お昼ごはんを食べてお昼休憩の時間にみんなと遊べたりしたのでみんなと仲良くなれたので良かったです。

お昼休憩が終わったら、自然の中のものでビンゴをしました。ビンゴは一個できたので良かったです。

最後に植木鉢のような物を作りました。木の工作はあまりやったことがなかったので楽しかったです。

林業体験は自然のことがたくさんわかって楽しかったので家族できのこ博物館に行きたいです。

楽しかった森林・林業体験

波野小学校　四年生　高森勇吹（たかもりいぶき）

ぼくは、自然や生きものが大好きです。森林・林業体験学習のお知らせを見て、絶対に参加したいと思いました。そして、その日がくるのをとても楽しみにしていました。

一番おもしろかったことは、フィールドビンゴです。葉やドングリを虫が食べたあと、モンキチョウやシオカラトンボ、セミのぬけがらなどいろいろな自然を見つけることができました。

はい木を使ったプランター作りは、初めてでしたが、かなづちでくぎを打ち、完成できたときはとてもうれしかったです。ぼくは、はい木がプランターになることにおどろき、環境にもやさしくていいなと思いました。ぼくは、いただいたマリーゴールドのタネをぷらんたーにまくのが、楽しみです。

森林のしくみについては、社会の授業でも学習しましたが、あらためて森林は、地球やぼくたち生きものにとって、とても大切な役割を果たしているのだと思いました。ぼくは、これから森林を守るためにできることを進んでやりたいです。

森林・林業たいけん学習に参加して

波野小学校　四年生　古川友也（ふるかわともや）

ぼくは、初めて森林・林業たいけん学習に参加しました。どんなたいけんをするのかわくわくしながらバスにのりました。

ぼくが一番楽しかった事は、木箱を作った事です。くぎをまっすぐ打てるか心ぱいだったけど、上手に作る事ができました。他にも木を使って色々な物を作ってみたいと思いました。

それと、初めてたいけんしたことがあります。それは、ちょうしん器を使って木が水をすっている音を聞いてみた事です。ぼくにははっきりとはきこえませんでしたが、木も生きているんだとじっかんしました。

森林・林業たいけんに参加して、家や学校でけいけんできない事がたくさんありました。夏休みにとてもいいたいけんができました。ありがとうございました。また来年も参加したいと思います。

樹木が水を吸い上げる音を聞く子どもたち

て〜ら祭　にぎわい見せる

十一月四日（土）五日（日）に中央公民館のお祭り（て〜ら祭）が開催されました。

市民会議では、四日にスーパーボールすくいを行い、多くのちびっ子たちに喜んでいただきました。合わせて「家庭の日」推進事業として「家庭の日」のPRを石鹸を配布しながら行いました。

五日には高校生会の生徒さんが中心となり、子ども遊びとしてプラバンやスライム作りを指導して頂きました。

スーパーボールうまくすくえるかな？

子ども達はプラスチック板に自分の好きな絵を描き、小さなペンダントを作りあげていました。また、スライム作りでは高校生のお姉さんやお兄さんに手ほどきを受けながら一生懸命お気に入りのスライムを作りあげていました。どちらもいいお土産になりました。

スライム作り風景

プラバン作り風景

鹿嶋市高校生会の活動記録

令和五年度においては次のような活動を行いました。

- ４月23日（日）　ヤングボランティア育成研修
  （白浜少年自然の家にて）
- ７月23日（日）　高校生交流会
  （高校生会の生徒が声をかけ合い仲間を集め、スポーツを通じてコミュニケーションづくりを行いました）
  （中央公民館・スポーツセンターにて）
- 定例会議　年７回開催
  情報交換や会の運営や事業活動の進め方などについて話し合いました。（市民会議事務所にて）

高校生交流会の一コマ

ボランティア活動

【市民会議事業での活動】

８月６日　森林林業体験学習補助
９月７日　少年の主張発表大会
11月５日　て〜ら祭子ども遊び運営

【鹿行生涯学習センターでの活動】

10月15日　高校生フェスタ運営・補助

【その他ボランティア活動】

７月30日　鹿嶋の水を守る会　ザリガニ釣り補助
８月５日　三笠公民館学習支援補助
８月27日　神栖市 縁JOYマルシェ補助
10月21日・22日　鹿嶋まつり みんなの広場補助

【家庭の日】茨城県では毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め、家族の団らんを奨めています。